

## 配信課題 I - 6 (計画)

© 2018 建築士の塾

### 問題 1

建築士法に基づく建築士の職責、業務等に関する次の記述のうち、**最も不適当**なものはどれか。

1. 建築士は、常に品位を保持し、業務に関する法令及び実務に精通して、建築物の質の向上に寄与するように、公正かつ誠実にその業務を行わなければならない。
2. 建築士は、設計を行う場合においては、設計に係る建築物が法令又は条例の定める建築物に関する基準に適合するようにしなければならないとともに、設計の委託者に対し、設計の内容に関して適切な説明を行うように努めなければならない。
3. 建築士は、違反建築物の建築等の法令違反行為について、指示、相談等の行為をしてはならない。
4. 建築士は、建築物に関する調査又は鑑定の業務であれば、その業務に関して不誠実な行為をしても、建築士法の規定による懲戒処分の対象とはならない。

## 問題 2

建築作品とその特徴に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。ただし、( )内は主な設計者である。

1. 「香港上海銀行本店(Norman Foster)」は、吊橋の工法を応用した構造の採用により、各階は、2列のマスト状の組柱の間が開放的な無柱空間となっている。
2. 「アラブ世界研究所(Jean Nouvel)」は、図書館、博物館、展示室等からなる複合施設であり、南北二つの棟がスリット状の通路及び正方形の中庭を挟んで対峙する構成となっている。
3. 「フランス国立図書館(Dominique Perrault)」は、大きな三つのゾーンからなり、前庭から入る中央ゾーンは、傾斜屋根により高い天井高を有し、中央にガラス張りの積層式書架形式のライブラリーがある。
4. 「ロイズ・オブ・ロンドン(Richard Rogers)」は、機械設備、エレベーター、便所、階段等のサービス機能をもったシャフトを、建築物の外周部に独立して配置している。

## 問題 3

既存の建築物の保存、再生、活用等に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 沖縄県にある今帰仁城跡な き じんじょうや首里城跡等の歴史的な資産は、琉球地方独自の文化遺産として2000年にユネスコの世界遺産に登録されている。
2. 佐賀県の有田町は、江戸時代以来の町家を保存し、活用するとともに、耐火煉瓦塀れんがの復元や裏通りの整備等のまちづくりを進めている。
3. 東京都にある東京国立近代美術館の工芸館の改修においては、免震構造を採用することにより、竣工時の姿を損なうことなく地震に対する安全性を高めている。
4. 京都市にある京都文化博物館の別館は、平安博物館として使用されていた旧日本銀行京都支店を、竣工時の姿に復元し、整備したものである。

#### 問題 4

建築部品とモジュラーコーディネーションに関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 一般に、特定の需要や特定のビルディングシステムを対象とした建築部品をクローズド部品といい、不特定多数の建築物を対象とした建築部品をオープン部品という。
2. 建築部品等の呼び寸法は、一般に、製作寸法とは異なる。
3. パネル状のものが並んで面をなす構成材群(畳、天井パネル等)は、一般に、シングルグリッドにしたがって配列すると構成材間の互換性が高くなる。
4. 日本工業規格(JIS)のモジュラーコーディネーションは、モデュロールの寸法を基本として寸法体系が定められている。

#### 問題 5

都市空間についての著書に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. レム・コールハースは、「錯乱のニューヨーク(Delirious New York)」において、主としてマンハッタンの超高層建築物がつくりだした「過密の文化」に着目し、「マンハッタニズム」と定義した。
2. クリストファー・アレグザンダーは、「パターン・ランゲージ(A Pattern Language)」において、過去の事例から導きだされた都市や建築を形づくるための基本的な原則を示した。
3. ジェイン・ジェイコブズは、「アメリカ大都市の死と生(The Death and Life of Great American Cities)」において、都市の街路や地区に多様性を生み出す四つの条件を示した。
4. ケヴィン・リンチは、「都市のイメージ(The Image of the City)」において、ラスベガスの都市景観の多様な空間要素を記号論的な視点から分析した。

## 問題 6

建築物の各部の寸法に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 保育所の幼児用トイレにおいて、3～5歳児用の小便器の間隔を、55cmとした。
2. リゾートホテルの大浴場において、洗い場のカランの間隔を、隔て板を設けなかったので60cmとした。
3. 事務所ビルの事務室において、設置するパーティションの高さを、椅子に座った状態で見通しがよくなるように、床面から110cmとした。
4. 屋内の公式試合用のテニスコートにおいて、コートの中央部分(ネットの真上)の天井の高さを、15mとした。

## 問題 7

建築物等の各部に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 自走式屋内駐車場のはり下の高さを、2.3mとした。
2. 卓球台を中央に配置する卓球コート1面の広さを、6m×12mとした。
3. 屋内スポーツ施設の天井の高さを、バレーボールの試合を行えるように6mとした。
4. 小学校の普通教室の広さを、9m×8mとした。

## 問題 8

屋内階段に関する次の記述のうち、「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準(国土交通省)」に照らして、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 階段の両側の壁に手すりを設けるに当たり、その手すりの端部は、階段の上端では水平に45cm延長させ、下端では斜め部分も含めて段鼻から45cm延長させた。
2. 階段に上下2本の手すりを設けるに当たり、その上段の手すりの高さを80cmとし、下段の手すりの高さを60cmとした。
3. 階段の蹴上げを15cm、踏面を32cm、蹴込みを1cmとした。
4. 階段上端部と連続する床については、視覚障がい者が段を認識できるように、段の手前5cmの位置に線状ブロックを敷設した。

## 問題 9

まちづくりに関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. エリアマネジメントは、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組みのことである。
2. コンパクトシティは、市街地の無秩序な拡大を抑制しながら、都市地域の環境整備に重点を置き、環境的・経済的持続性を高める都市モデルである。
3. CPTED (Crime Prevention Through Environmental Design)は、防犯環境設計とも訳され、心理学的効果を考えた設計によって、犯罪抑止効果を高める計画手法である。
4. トランジットモールは、ショッピングモールの形態の一つであり、商店街から一般の自動車及び公共交通機関を排除した歩行者専用の空間である。

## 問題 10

まちづくりに関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものは、次のうちどれか。

1. スマートグリッドは、インターネット等の通信回線を活用し、複数の建築物のエネルギー設備を一元的に管理・制御することによって地区単位で行われる、エネルギーの集中管理システムである。
2. タウンマネジメントは、市民、行政、商店街等の地域を構成する様々な主体が参加し、広範な問題を内包するまちの運営を横断的・総合的に調整・プロデュースする、市街地の活性化と維持に関する取組みである。
3. 文化財保護法の規定による伝統的建造物群保存地区は、都市計画区域又は準都市計画区域内においては、市町村が都市計画に定めることができる。
4. 都市再開発法の規定による第二種市街地再開発事業は、市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新とを図るために、管理処分方式によって公共施設の整備と併せて建築物及び建築敷地の整備を一体的に行う事業である。

## 問題 1 1

集合住宅に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 「同潤会江戸川アパート」(東京都新宿区、1934年)は、社交室、共同浴場等の付帯施設を有し、住棟を平行に配置した低層集合住宅である。
2. 「代官山ヒルサイドテラス」(東京都渋谷区、1969年)は、上層に住戸を、下層に商業施設やオフィス等の機能を中心として複合させた都市型集合住宅である。
3. 「ライブタウン浜田山」(東京都杉並区、1977年)は、1階のフラット住戸に設けられた専用庭と2～3階のメゾネット住戸への専用の屋外階段が、路地的なスペースに面して設けられた集合住宅である。
4. 「Mポート」(熊本市、1992年)は、居住者の参加による各住戸の設計が行われたコーポラティブハウスであり、居住者の交流等を意図して共用空間を配置している。

## 問題 1 2

建築家の自邸に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 土浦亀城邸(1935年)は、「白い箱」型の外観をもち、内部は居間の吹抜けを中心とし複数の床レベルによって構成されたモダニズムの木造住宅である。
2. 増沢洵邸(1952年)は、戦後の極限的小住宅の先駆けとなった事例であり、1階の鉄筋コンクリート造のコアの上の木造部分に、最小限必要な要素を収めた住宅である。
3. 菊竹清訓邸のスカイハウス(1958年)は、4枚の壁柱によって正方形の主室を空中に持ち上げ、HPシェルの屋根を設けた構成で、住宅生産の工業化の利点を生かし、設備等の更新を可能とする「ムーブネット」を取り付けた住宅である。
4. 原広司邸(1974年)は、玄関からバルコニーまで降りてゆく中央の吹抜けの両側に居室を配置し、トップライトから自然光を取り入れ、住居の中に「都市を埋蔵する」構成を意図した住宅といわれている。

### 問題 1 3

宴会場をもつ大規模なシティホテルの計画に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 客室用のエレベーターの台数を、100～150室当たり1台として計画した。
2. 宿泊と宴会の客の動線に配慮して、メインエントランスホールとは別に、宴会場専用のエントランスホールを設けた。
3. ツインベッドルームの床面積を、1室当たり30㎡とした。
4. 客室部分の床面積の合計を、ホテル全体の延べ面積の70%程度とした。

### 問題 1 4

図書館の計画に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 入退館者の管理のため、ブックディテクション装置を出入口付近に設ける計画とした。
2. 閲覧機の1人当たりの広さは、間口90cm、奥行き60cmとして計画した。
3. 館内のスペース利用の変更や資料の配置換えを考慮し、サインをシステム化した。
4. 地域図書館の開架書架スペースは、収容量を300冊/㎡として計画した。

### 問題 1 5

公共施設の計画に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 地域のコミュニティセンターの計画において、ロビーの一部を、予約することなく利用できる多目的屋内広場とした。
2. 小学校の計画において、チームティーチングにより学習集団を弾力的に編成できるようにするため、クラスルームに隣接してオープンスペースを設けた。
3. 一般的な総合病院の計画において、延べ面積に対する外来部門の床面積の割合を、15%とした。
4. 介護老人保健施設の計画においては、4人部屋の療養室については、1室当たり床面積28㎡とした。

問題 16

高齢者のための施設や住まいに関する用語とその説明との組合せとして、**最も不適当な**ものは、次のうちどれか。

	用語	説明
1.	老人デイサービスセンター	身体上又は精神上の障がいにより、日常生活を営むのに支障がある高齢者等（養護者を含む。）に対し、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練、介護方法の指導、生活等に関する相談及び助言、健康状態の確認等のサービスを、通所方式で提供する施設
2.	有料老人ホーム	医療ケアを必要とする要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことを目的とし、入所者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるようにするとともに、居宅における生活への復帰を目指した施設
3.	ユニットケア	入居者10人前後の日常生活の領域を一つのユニットとして位置づけ、各ユニットに個室と他の入居者や介護スタッフと交流するための居間(共同生活室)があり、他の入居者や介護スタッフと共同生活をしながら、入居者の個性や生活リズムに応じて暮らしていけるようにサポートしていく介護手法
4.	ハウスアダプテーション	既存住宅において、そこで暮らす高齢者等の身体状況に応じて、開口部や通路の有効幅員、段差等の日常生活上の障がいを除去することによって、高齢者等がなるべく在宅のまま住み続けられることを目的とした住宅改造



### 問題 17

建築の計画に関する次の記述のうち、**最も不適切な**ものはどれか。

1. パーソナルスペースは、人の身体を囲んでいる心理的な領域のことであり、立位より平座位のほうが大きくなる。
2. オフィスランドスケープは、固定間仕切を使わず、ローパーティション・家具・植物等によって、適度なプライバシーを保った事務空間を形成することである。
3. コンバージョンは、既存建築物の用途変更・転用のことであり、都市部においては事務所ビルを集合住宅に改修した例もある。
4. 劇場における舞台の上手は、客席から見て舞台の右側のことである。

### 問題 18

「建築士法第25条の規定に基づき、建築士事務所の開設者がその業務に関して請求することのできる報酬の基準」において、**工事監理に関する標準業務として示されていない**ものは、次のうちどれか。

1. 工事監理の着手に先立って、工事監理体制その他工事監理方針について建築主に説明する業務
2. 工事と設計図書との照合及び確認を全て終えた後、工事監理報告書等を建築主に提出する業務
3. 工事施工段階において、設計意図を正確に伝えるための質疑応答、説明等を建築主を通じて工事施工者に対して行う業務
4. 設計図書の定めにより、工事施工者が作成し、提出する施工図(躯体図、工作図、製作図等)、製作見本、見本施工等が設計図書の内容に適合しているかについて検討し、建築主に報告する業務

## 問題 19

建築積算に関する次の記述のうち、建築工事建築数量積算研究会「建築数量積算基準」に照らして、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 「設計寸法」とは、設計図書に記載された寸法、記載された寸法から計算によって得られる寸法及び計測器具により読みとることのできる寸法をいう。
2. 根切りの数量を算出する場合、土間、犬走り以外の場所における作業上のゆとり幅は0.1mを標準とする。
3. アンカーボルトの所要数量を算出する場合は、ロスが発生しないものとする。
4. 窓、出入口等の開口部の内法の見付面積が、1か所当たり0.5㎡以下の場合、原則として、開口部によるコンクリートと型枠の欠除はないものとする。

## 問題 20

プロジェクトマネジメントに関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. プロジェクトのスケジュール管理のためには、クリティカルパスを見極め、重点的に管理することが有効である。
2. 性能発注方式は、一般に、設計者が施工候補者に一定の性能基準を提示した上で、技術提案を求めて施工者を選定する発注方式である。
3. プロジェクトの内容の確定度が低い設計初期段階では、VE(バリューエンジニアリング)の効果は低い。
4. フィージビリティスタディは、計画されている内容について、都市計画等の上位計画との整合性、技術的課題、採算性等、多面的に実現の可能性を検討するものである。